

市内195施設の未来をどうすべき？



市民webアンケート実施中

年間34億円が不足

公共施設の多くは建設から40年程経過し、近い将来、同時期に大規模改修や建替が集中することが見込まれます。

今後47年間の公共建築物の維持更新費用は1年あたり約74億円必要な一方、既存施設に当てられる財源は年間約40億円であり、年間約34億円が不足すると試算しています。



文化ホール



市役所庁舎



公民館、地域生涯学習センター等



小中学校

延床面積の25%削減が必要

年間34億円の不足を解消するため、市では今後47年間で公共建築物の延床面積を25%削減する必要があると考えています。

建替等のタイミングに合わせ、施設の統合・複合化・廃止・譲渡などを検討・実施していきたいと考えています。

あなたのご意見をお寄せください

これらに対応する市の考え方として、令和元年に「掛川市公共施設再配置方針」を策定しました。策定から5年が経過したことから、現状にあわせて見直すことになりました。そこで、方針の見直しにあたり、しっかりと市民の皆様のご意向を踏まえるために、市民webアンケートを実施することになりました。

市民の皆さま、施設を利用されている皆さまのご協力をお願いします。

公共建築物はもっと増やす？

使用料を増やしても維持すべき？
統合・複合化などにより集約化？
必要でない施設は廃止？

必要だと思う公共施設は？

お住まいの中学校区で、
市内で、広域圏で…



スポーツ施設



産業施設

アンケートはこちらから ▶▶▶

所要時間 ▶ 約2分

回答メ切 ▶ 令和6年1月31日水



二次元コードが読み取れない方はこちら ▶ <https://logoform.jp/f/PrXOG>

※公共施設に関する詳細情報は下記URLをご確認ください

URL ▶ <https://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/gyosei/docs/518992.html>

未来の掛川市のために、ご協力をお願いします！

掛川市 総務部 資産経営課 公共施設マネジメント推進室 (担当：山崎・住本・石原)

電話：0537-21-1132(直通) FAX：0537-21-1166

E-mail：sisankeiei@city.kakegawa.shizuoka.jp

掛川市公式キャラクター
「茶のみやきんじろう」

